

第2章 水郡線（野木沢～常陸大子）

先週の3連休に引き続き、福島県と茨城県に跨る水郡線に挑戦する。昨日（平成30年9月22日）はわいわい会の行事があったので、今回の旅は9月23日（日）～24日（月）となった。次のようなプラン（営業キロ54.5km）で臨む。なお、今回のプランは初めて温泉泊での旅で感動もひとしおだった。湯よし、料理よし、酒よし、風景よしの旅で、1万キロへの詰め（あと22km）としても印象に残る旅でもあった。



奥久慈の湯で寛ぐ！！

一方、時間との戦いで苦しい区間もあったが、適宜ジョギングを取り入れ、全ての駅舎立ち寄りに成功。これで水戸から郡山までの水郡線（全長142.4km）のうち、郡山から常陸大子（ひたちだいご：86.8km）までが繋がった。

第1節 旅プラン

○2018年9月23日(日) 晴れ

やまびこ 125号 大宮 7時 58分 → 郡山 8時 55分

郡山 9時 18分 → 磐城塙 10時 44分

磐城塙～磐城石井～南石井～東館～矢祭山～下野宮～常陸大子 (25.7 km)



リバーサイド奥久慈 福寿荘泊 (0295-72-0580)

○9月24日(月) 晴れ

常陸大子 9時 5分 → 磐城塙 9時 35分

磐城塙～近津～中豊～磐城棚倉～磐城浅川～里白石～磐城石川～野木沢 (28.8 km)

野木沢 17時 46分 → 郡山 18時 25分

やまびこ 218号 郡山 18時 59分 → 大宮 20時 17分

第2節 1日目；9月23日（日）：磐城塙～常陸大子 晴れ

先週に引き続き、水郡線に挑戦する。平成30年9月22日（土）から始まる3連休、初日は第71回わいわい会があったので、9月23日（日）～24日（月）は数日前までは休養したいと考えていたが、何とか11月10日（土）の高松一高関東同窓会までには、1万キロを達成したいという一心から急遽旅行を思いつく。佳境に突入したこともある。”鉄は熱いうちに打て”の格言の順守である。

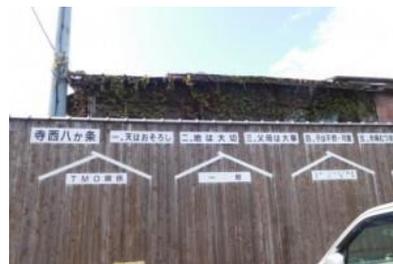


大宮駅

郡山駅

先週の15日と同じダイヤで水郡線の磐城塙まで移動する。今回の旅はビジネスホテルではなく常陸大子駅界隈にある温泉付きホテル（2食付き）で臨む。それ故、どういふ手順で歩くかを錯綜したが、結果的には磐城塙駅を境にして、磐城塙～常陸大子、磐城塙～野木沢の計画にして大成功。もしこれ以外のプランであれば、この区間未踏破になる箇所があっただろう。

私の旅の楽しみは鉄道つたい歩き、その記録に加え、宿や歩く手順などをプランニングすることである。このプラン創りがたまらなく面白い。すなわち、私の”こだわり鉄道つたい歩き”も仕事と同様、Plan, Do, Check が要求される。時間、経費を最大限有効活用し、無駄使いしない狙いからである。手順の前後はNGとなりかねないから。



磐城塙駅

磐城塙駅前の寺西八カ条

磐城塙から常陸大子（営業キロ 25.7 km）までは、列車の窓から歩く道筋を見ない歩きのため慎重な歩き方で臨む。今回はレールウェイマップルをカラーコピーして臨んだので、比較的路に迷うことなく常陸大子駅に到着できた。南石井駅はもう少しで通り過ぎるところであったが、これまでの第六感が作動し無事踏破できる。矢祭山駅界限は山間と久慈川とのコントラストもあり風光明媚な区間を楽しむことができる。下野宮駅への道筋は、運よく道路標識を見つけ路に迷うことなく対処できる。それでも要所要所で地元の人のお世話になり常陸大子駅に辿り着く。常陸大子駅到着は 18 時 17 分。辺りは暗闇となっていた。ここからタクシーでリバーサイド奥久慈福寿荘まで移動。温泉で汗を流した後、地酒(シガ)を堪能しながら夕食とする。本日も充実した一日であった。

具体的な駅舎への立ち寄りの状況等は次の通り。

磐城塙（10 時 52 分）～磐城石井（12 時 31 分）～南石井（13 時 2 分）

～東館（13 時 55 分）～矢祭山（15 時 14 分）～下野宮（16 時 35）

～常陸大子（18 時 17 分）

先週に引き続き郡山駅で乗った車両は 2 両編成（非電化）、磐城棚倉（？）で離合。10 時 44 分磐城塙駅で下車。この駅舎の構内には図書館があった。駅舎は傘のようなドングリのような印象的建物で、駅前には寺西八か条があり、デジカメに収める。



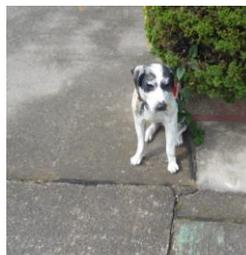
磐城塙駅

10 時 59 分、出羽神社に本日の安全を祈願する。11 時 5 分、本町バス停（福島交通）を通過。11 時 6 分、万歩計で 72 歩ある川上川を渡る。11 時 11 分、国道 118 号線に出る。11 時 22 分、愛犬セブンのような像の前を通過。11 時 27 分、自分の画像を鏡から取り込む。11 時 39 分、木の博物館の標識があった。11 時 42 分、石川町から矢祭町となる。12 時 7 分、鉄道下を潜り、鉄道の左側となる。館谷こ道橋を潜る。12 時 13 分、館谷バス停前を通過。12 時 25 分、そろそろ磐城石井駅と思い、小道に入る。その先に木の博物館前があり、線路沿いに沿った先に磐城石井駅（12 時 31 分）があった。12 時

44分、下石井仲バス停前通過。12時51分、西郷酒店がある。12時51分、大内沢バス停前を通過。少し行き過ぎていたが、南石井駅には13時2分到着。



出羽神社



セブンのような犬像



黒助バス停（福島交通）



木の博物館



磐城石井駅



大内沢バス停



南石井駅

この駅はもう少しで未踏破になりそうであったが、18年間の第六感が作動し無事踏破できる。線路を渡り、50m位ある段差をよじ登りホームに到着。数年前の函館本線の妹背牛駅の踏破を思い出した。13時4分、大内沢踏切を横切り、国道118号線に戻る。13時9分、山崎バス停を通過。13時11分、矢祭町戸塚を通過。13時14分、村社八幡神社前を通過。13時25分、太子沢バス停前を通過。13時37分、矢祭町立矢祭中学校前がある。13時55分、東館駅に到着。駅舎には、「あいさつ運動の実践」として5つかあった。

1. おはようございます
2. 今日もがんばりましょう
3. ご苦労様でした
4. それではお先に失礼します
5. 又あしたね さようなら



矢祭中学校 東館駅

14時12分、鉄道下を潜る。14時17分、158歩ある新矢祭橋（久慈川）を渡る。14時25分、関岡小学校前を通過。14時33分、水戸75km、太子12kmの道路標識がある。14時40分、交通安全守護観世音菩薩前を通過。この限界で右往左往する。農家の人の助言があつたにもかかわらず。14時50分、200mある矢祭トンネルを通過する。14時56分、58mある新衣岩トンネルがある。14時58分、左手に久慈川がある。川に沿って鉄道があり安堵する、15時赤橋がある。駅が近いことを察知する。15時3分、鉄橋には“第9久慈川橋りょう”と記されていた。15時5分、矢祭山公園の看板がある。駅前に観光の店がある矢祭山駅には15時14分到着。鮎の塩焼きが目に見える。沢山の観光客がいた。



久慈川 矢祭山公園

矢祭山駅前を種々のアングルでデジカメに収め下野宮駅を目指す。15時23分、56歩ある八溝橋（矢祭川）を渡る。只今現在の気温は22℃であった。15時47分、福島県矢祭町から茨城県大子町に入る。15時57分、なかのせき橋では釣人がいた。16時6分、国道118号を離れ一般道に入る。その先でJRを潜り鉄道の左側となる。



矢祭山駅

16時11分、105歩ある宮川橋を渡る。16時19分、第2棚倉街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。これから線路に沿って暫く歩く。16時35分、下野宮駅に到達。



矢祭山駅界隈の鉄橋

宮川橋



第2棚倉踏切

下野宮駅

16時42分、近津神社前を通過。近くに下野宮小学校がある。16時47分、88歩ある万年橋（八溝川）を渡る。線路に沿って歩く。今歩いている道路は県道28号（大子那須線）とあった。17時13分、あいさつを交わす犬をデジカメに収める。17時24分、給食センター前（茨城交通）を通過。17時37分、第一棚倉街道踏切を横切り鉄道の左側となる。17時47分、大鈴神社前を通過。暗くなった路を歩く。



近津神社 下野宮小学校



鉄道に沿った路を歩く

地元の人に聞いて18時17分やっと常陸大子駅に到着する。駅前にタクシーがいなかったのので、タクシー会社まで足を運び、リバーサイド奥久慈福寿荘まで行ってもらった。203号室の個室であった。早速、湯船につかり、19時より夕食とする。遅いこともあり、部屋まで食事を運んで頂く。ビールのあとは、地酒（シガ）で堪能しながら、本日の疲れを癒す。本日の成果は、営業キロ25.7km、万歩計は44,737歩であった。明日の朝食は7時半とのことで、ゆっくり骨休みとなった。久しぶりにぐっすり眠れる。



常陸大子駅

第3節 2日目：9月24日（月）：磐城塙～野木沢

二日目（平成30年9月24日（月））の水郡線の旅は、昨日スタートした磐城塙駅から9月15日にこの線の起算点となった野木沢駅に繋ぐ歩きである。福寿荘自慢の檜風呂に浸かったあと、朝食を頂き、常陸大子駅までタクシーで移動。当初は6時57分の列車で磐城塙駅に向かう予定であったが、ホテルでゆっくりした関係で、常陸大子駅を9時5分となり、磐城塙駅には9時35分到着。この関係で28.8km先にある野木沢駅まで17時46分までに踏破できるかどうか未知数となる。8時間で28.8kmの踏破は微妙であった。できれば儲けものの気持ちで臨む。昨日、列車から沿線の道筋をチェック。野木沢～磐城石川、磐城浅川～磐城棚倉にて山間が続いて相当迂回を余儀なくされるだろう。一方、磐城棚倉～磐城塙の辺りはほぼ鉄道に平行して幹線道路（国道118号）があり余り手間取らないと思われた。



ホテル内



9時35分、磐城塙駅に到着。久慈川に沿ったサイクリングコースを歩き、近津駅には11時1分到着。鉄道に沿った道筋を淡々と歩き中豊駅には11時39分到着。ここから2.4km先にある磐城棚倉駅への道筋を路に迷う。水郡線では主要な駅舎を一時は未踏破になりそうになる。賑やかな箇所を過ぎた小高い丘に到達し、左手に線路を確認しているものの、とんでもない方向に自分が進みつつあることを察知する。再度地図を確認し、1km位誤って進んでいたのに気付く。ここからジョギングが始まり、行き過ぎた磐城棚倉駅を地元の人のお世話になり、やっと12時28分に到着できる。30分位ロスタイムする。この時点においてハイペースで歩かないと19.6km先にある野木沢駅には到着できないと察知する。しかもこれからくねくねした山道を歩くことを余儀なくされる。自信はなかったが、”必殺仕事人”の心境が作動し、何とか17時半までには到着したいという思いが強くなる。



常陸大子駅



水郡線開通記念碑



本日一番長い営業キロ (6.5 km) ある山道を暗中模索で歩く。分岐点がありどちらの方向に進むべきか暫く右往左往する。200m先に交差点があり、国道 118 号に出る。ここから 1~2 km 位ジョギングして先程のロスタイムの穴埋めをする。磐城浅川駅には 14 時 16 分到着。ここから里白石駅への道筋も地図では判断できない難所が一箇所ある。運よく、その交差点にコンビニがあり、そこにおられたドライバーの方に問い合わせ難所をクリアする。里白石駅には 15 時 5 分到着。ここから後 2 時間半で 5.3 km 先の磐城石川駅とそこから 4.8 km 先にある野木沢駅への到着が要求された。遅くとも 16 時半までには磐城石川駅に到着したいという一心から、ジョギングの頻度が多くなる。山道をハイペースで歩き、磐城石川駅には 16 時 18 分到着。そして、同じような山道を歩き終着駅の野木沢駅には 17 時 25 分到着。20 分早く到着できホットする。途中、稲刈りの場面をデジカメに収める余裕はあったが。

本日の状況は次の通り。

磐城塙 (9 時 40 分) ~ 近津 (11 時 1 分) ~ 中豊 (11 時 39 分)

~ 磐城棚倉 (12 時 28 分) ~ 磐城浅川 (14 時 16 分) ~ 里白石 (15 時 5 分)

~ 磐城石川 (16 時 18 分) ~ 野木沢 (17 時 25 分)

ホテルの自慢の檜風呂に 5 時半入る。入浴の後は、足のマッサージをし、本日の計画を練る。頑張ればもしかすると達成できるかもと自己暗示をかける。地図を見て勉強する。里白石から磐城石川そして野木沢に向かう山道をうまく乗り越えられるかだろうと察知する。そのためには 15 時までには里白石駅に到着しなければならないと目標を立てる。7 時半の食事、相馬から来たという夫婦連れと色々会話しながら頂く。8 時半にタクシーを頼む。親切にも朝食事と一緒に頂いた方に「駅まで送りますか」と親切な言葉をかけて頂く。「有難うございます。タクシーを呼んでいます」と回答。駅には 8 時 40 分頃到着。駅前の種々のアングルで撮影し、9 時 5 分の郡山行きの列車 (2 両編成) で磐城塙駅 (9 時 35 分着) に向かう。



磐城塙駅

9時42分、コスモス花壇前を通過。9時48分。塙〇〇〇バス停前を通過。9時59分、サイクリングコースを歩く。久慈川に沿って歩道が続く。10時38分、サイクリングコースは終わりとなる、10時42分、JR線を潜り幹線道路に出る。この時、昨日磐城塙まで乗った列車と対面する。10時45分、60歩ある新豊岡橋を渡る。11時、近津バス停前を通過。その先に近津駅（11時1分）があった。



久慈川

近津駅

11時10分、鶴生バス停前を通過。11時113歩ある久慈川を渡る。第六感で鉄道に沿った幹線道路から曲がった先に中豊踏切があり、その踏切を渡ると中豊駅(11時39分)があった。ここから鉄道の右側を遵守したため、次の磐城棚倉駅が未踏破になりそうになる。イオンがある賑やかエリアを通過して小高いエリア（12時18分）に出る。



鶴生バス停 (福島交通)



中豊駅

先程鉄道を左手に確認したにも関わらず、道筋が何となく鉄道に遠ざかる感じであった。人里から離れていくような感じであった。変だと思い地図を確認する。やはり間違った方向に進んでいると判明する。小走りで直ちにリカバリー体制に入る。踏切を横切った先に寺があり、ここに来ていた方に磐城棚倉駅を尋ねる機会を得る。1 km位道を下った先にあるとのことであった。12時28分、やっとのことで駅前の広場にゆとりがある磐城棚倉駅に到着する。



路に迷った高台



中豊踏切



リカバリーへの路



磐城棚倉駅

地図を再度確認したところ幹線道路からくねくねしたところにあった。水郡線の主要な駅にも関わらず、これでは未踏破となっても不思議ではないと自分に言い聞かせる。12時40分、県社宇迦神社前を通過。12時50分、国道18号線下を潜る。12時55分、交差点を左に進むべきか右手に進むべきか右往左往する。200m位先に再度交差点が見

えてくる。それ故、ダメ元で左折を選択する。結果的に大成功。13時2分、郡山に繋がる国道118号線に出ることができる。



県社宇迦神社 磐城浅川駅への路

13時16分、瞬間的にポツリを感じるが、雨には全く逢わず。二日間が一番の難所は磐城棚倉駅であったかも知れないと。先程の30分のロスタイムを少しでも取り戻すため、小走りの頻度が高まる。途中、地元人に接する機会があり、磐城石川駅への道筋を確認する「このバイパスを真っ直ぐ進めばあります」とのことであった。それでも線路が見えないので疑心暗鬼が続く。13時24分、やっと左手に鉄道を見つけ安堵する。いつ線路を横切ったかは掌握できなかったが。13時49分、棚倉町から浅川町となる。13時55分、国道から外れた一般道に入る。道なりに歩いた先に磐城浅川駅(14時16分)あった。



磐城浅川駅への道路標識 磐城浅川駅



里白石駅 稲刈りの現場

ここから一層慎重になる。14時28分、国道118号線に戻る。14時31分、ダイユーエイト前を通過。14時40分、弘法山遊園前を通過。途中分岐点があり、右往左往したが、ドライバーの方に助けられ、予定時刻の15時5分、里白石駅に到着する。15時10分、再度国道118号線に戻り、次なる磐城石川駅を目指す。15時12分、鉄道を横切り、左側となる。15時25分、稲刈りの現場に出くわす。稲を刈りの現場に遭遇する。最近では稲を刈るや否や機械が自動的に脱穀してくれる。便利になった反面、採算性に疑問を多少感じた瞬間であった。15時33分左手に久慈川があった。15時37分、山形という道路標識前を通過。



山形の道路標識

竹林

15時50分、いしかわ清苑前を通過。15時52分、黄色いコスモス畑前を通過。近くに竹林があった。小走りが続く。15時59分、桜が丘学園前を通過。16時、石川温泉郷看板前を通過。駅が近いことを感じ取る。近くに桜が岡バス停があった。16時1分、石川支援学校があった。16時6分、久慈川に沿って式部のやかた“井筒”があった。



石川温泉郷

石川支援学校



磐城石川駅

近くで地元の人と対面したので「磐城石川駅が遠いですか」と尋ねる。「ここから10分位歩いた先にあります」との回答を得、多少安堵する。16時14分、JR線を跨ぎ、坂道を下った先に磐城石川駅（16時18分）があった。



石田バス停 野木沢駅への道路標識

トイレ休憩と水分補給して、4.8 km先の野木沢駅を目指す。坂道を上り、国道118号線に戻る。16時52分、石田バス停前を通過。小走りが功を奏し、ここから10分先にある野木沢駅に繋がる交差点（17時12分）に到達する。やれやれという感じ終着駅野木沢を目指す。17時18分、野木沢郵便局前を通過。17時25分、やっとのことで野木沢駅に到着する。



野木沢駅

郡山駅の電車まで 20 分位あったので、駅前を種々のアングルでデジカメに収める。これで、郡山から常陸大子まで繋がり満足感と達成感でお腹一杯となる。17 時 46 分の郡山行きの列車は高校生で一杯であった。郡山駅に到着するや否や駅構内にある立ち食い蕎麦屋で夕食を摂り、やまびこ 128 号にて祝杯をあげる。本日の営業キロは 28.8 km、万歩計は 53,638 歩であった。自宅到着は 22 時 40 分だった。よくも有言実行できたものだと。今日も天や神、そして地元の人に感謝あるのみ。大満足の 2 日間であった。

今日もスケジュール的には厳しいものがあつたが、見事クリアでき、大満足。天や神、そして地元の人に感謝また感謝。郡山駅構内の立ち食い蕎麦屋で夕食後、やまびこ 218 号内で祝杯あげる。これで水郡線の郡山から常陸大子までが繋がり、同時に 1 万キロまで 22 km となる。何とか次回の歩きで水郡線の踏破と同時に 1 万キロを達成したいものだ。願わくは、水戸駅前の漫遊記水戸黄門像の前で記念写真と夢膨らむ。



郡山駅 新幹線で祝杯